

平成 27 年 7 月 23 日 00231 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

ニュースレター【合気道情報】合気道演武会開催！

7月18日(土)・19日(日)の2日間にかけて、北見市武道館道場1を会場に『大東流合気柔術 幸道会』による高段者講習会



が行われました。会場正面には、武田惣角・堀川幸道両名の写真が掲げられ、大東流合気柔術幸道会総本部相談役最高顧問 井上祐助 免許皆伝師範が見守る中、技の注意点など細部に至るまで指導を受け、精妙で深達なる技の数々を披露しておりました。



※大東流合気柔術 幸道会とは、今から 900 有余年前の清和天皇の末孫である新羅三郎源義光を始祖として大東の館で修練されたことにちなみ大東流と称され、代々甲斐源氏武田家に伝承された秘術を、明治維新後大東流合気柔術の中興の祖といわれた武田惣角により直伝された堀川幸道が、昭和25年9月湧別に於いて会を創設。後に堀川師範には、石田和外(元最高裁判長官)の提唱により、町村金五(元自治大臣)ら 8 名の連名で大東流合気柔術永世名人位が贈られた。武田惣角の余り世に知られていない話として、明治 35 年米国より初のプロレスラーが来日、仙台警察署において 2 名が惣角と試合を行い惣角に完敗し、その門下に入り合気柔術の指導を受け帰米したが、その後このことがルーズベルト大統領の知るところとなり、同大統領から惣角に対し、渡米指導要請を受けた。そこで惣角の高弟である当時仙台警察署武道教師をしていた原田信蔵を教授代理として派遣させ、米国各地で大東流合気柔術を指導することとなった。現在プロレスラーの技には大東流合気柔術の技が相当使用されているが、この頃米国で指導を受けたレスラーが、その道の者に伝授し、今日に伝えられたものと考えられています。(大東流合気柔術幸道会 HP 一部引用)

【NPO 法人情報】北見市武道振興協会理事会開催予定

来週、7月29日(水)午後7時より北見市武道館研修室を会場に、NPO 法人理事会が開催されます。

第20回総合武道祭事業報告や北見市武道館に関する協議が行われる予定です。

連載 「武道宝鑑」第3弾 文学博士 鹽谷温 〈文武両道〉

天に陰陽あり、地に剛柔の徳あり、以て宇宙間の萬物を生々するが如く、人に文武の両道があつて、以て能く修身治國の用をなして居る。若し文のみあつて武がなければ、則ち身体は弱く國は衰えてしまう。又反對に武のみあつて文がなければ、則ち氣は暴く國家は乱れ、共に與に健全な発達は得られない。実に文武は車の両輪、鳥の雙翼の如く、一方では用をなさず、偏廢することのすることの出来ないものである。抑抑漢字は元來が象形で、又その中には意味を結び合わせて出来たものがある。即ち日と月とを併せて明となし、人と言とを合わせて信となすが如くである。武の字は本字は、戈を止むるの意である。即ち字の成立からいへば、戈を揮つて人を斬るのではなく、人を斬らんとする戈を制し止めるのが武である。つまり戦いをするのが武でなく、むしろ戦乱を防止し戡定することが武の本義である。

つづく